

## 笑顔と元気のヒーロー

小学校五年

ぼくは、さぬき北小学校の児童会に入っています。ぼくが、児童会に入りたいと思ったきっかけは、あいさつ運動です。全校生が明るく元気になれるように活動する先ばいの姿が、まるで「笑顔と元気のヒーロー」のように見えました。そして、ぼくも先ばいといっしょに活動がしたいという気持ちが強くなっていきました。

夢がかなって児童会役員になった五年生の初めごろ、ぼくは不安でいっぱいでした。それは、自分に任せられた仕事ができるのか、意見を正しく伝えることができるのか心配だったからです。でも、いつも先ばい達が「大丈夫だよ。」「ゆっくりでいいからね。」「いっしょにしよう。」と、やさしく声をかけながら仕事のやり方や、発表や放送の仕方を教えてくれたおかげで、いろいろな活動に自信がもてるようになってきました。それから、児童会の活動が楽しくなってきた、前よりもてきぱきと動けるようになってま

した。

ぼくは、六年生になったら児童会会長になりたいと思っています。理由は、さぬき北小学校をさみしい思いをする子がいない、笑顔あふれる学校にしたからです。ぼくは、あいさつ運動であいさつをするだけでなく、あいさつをきっかけに、コミュニケーションをとることが大切だと考えています。なぜなら、会話はあいさつなどのコミュニケーションから始まるからです。あいさつをすることで会話が增え、会話が增えることでみんな笑顔になっていきます。そして、笑顔が増えると学校がもっと明るくなると思います。みんなが笑顔になれるような「おはようございます。」のあいさつを、みんなが当たり前に行うことができるように、これからも児童会の仲間とがんばっていききたいです。そして、あいさつの輪を学校だけでなく地域にも広げ、たくさんの人を笑顔にしたいです。それができてこそ、ぼくがあこがれた「笑顔と元気のヒーロー」だと思っからです。